

訪問看護とは

訪問看護とは病気や高齢により生活がしにくくなった方が住み慣れた地域で過ごせるようなお手伝いを看護師や作業療法士などがお宅に訪問して行うサービスです。

ACTあさひかわができること

- ☆ACTプログラム
 - ☆オープンダイアログ
 - 病状の確認
 - 服薬に関する相談
 - 在宅療養のお世話
 - 医師からの指示による処置
 - 介護方法に関する相談
 - 医療器具の管理
 - 床ずれ予防・処置
 - 認知症・精神疾患
 - ご家族への介護支援・相談
 - 終末期のケア
- など

営業時間

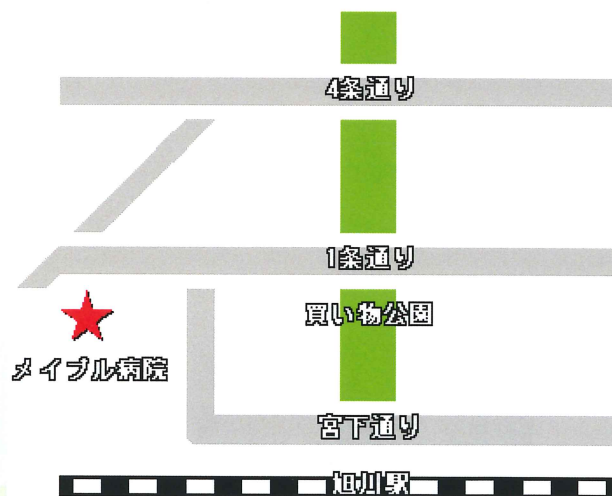
営業時間	月	火	水	木	金	土
9:00-12:00	●	●	●	●	●	△※1
13:30-17:30	●	●	●	●	●	/

[休業日] 日祝日・年末年始・お盆

※1 土曜日は9:00～12:30の診療です。

※2 24時間電話相談可（お申し込みされた方）

アクセス/マップ



- ◎JR旭川駅より車で10分
- ◎旭川電気軌道①番 曙1条5丁目下車

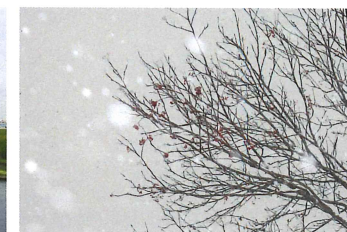
電話・FAX

- ☎ 0166-25-2611
- ☎ 0166-25-2615

医療法人順真会

メイプル病院

〒070-0061
北海道旭川市曙1条8丁目2番地の29



夢と希望をかなえるお手伝い

訪問看護ステーション

ACTあさひかわ

メイプル病院 検索

<https://www.maple-hp.net/>

ACTプログラムとは？

▶ ACT (アクト/Assertive Community Treatment)

重い精神障害をもった当事者が住み慣れた場所で安心して生活を送り続けられるように、さまざまな専門職によって構成されるチームが支援をするプログラムです。

ACTのAssertiveには「粘り強く」「積極的に」という意味が込められ、私たちはこれを「利用者が夢や希望をもって自分の人生を自分で歩む」「主張をする」と解釈しています。

これまでは重い障害を抱えている当事者はまず病院などの施設へ入院・入所して生活することが当然となっていました。地域から離れている時間が長くなればなるほどその人が持つ本来の力(ストレングス)が弱くなり、結果として病院や施設の中でしか生活ができなくなり、その人の望む生活や人生が送れなくなってしまいがちでした。障害を抱えていても対応できるACTのような仕組みがあることで人生をあきらめることなく地域で暮らし続けることができるという考えをACTプログラムは持っています。

ACTの特徴

- 一緒に住居を探したり、大家や近隣住人との関係調整
- 買い物や交通機関の利用方法など生活に関する支援
- 就労先との間に入り仕事内容や勤務時間などの調整
- 年金や生活保護といった経済的サービス利用の支援
- 家族関係についての支援
- 町内会やサークル活動など地域の資源利用の相談・お手伝い
- 病気や服薬など病気を自己管理する方法についての支援
- 治療継続のための受診同行や薬の宅配などの支援
- 危機状態への介入や短期入院中の継続支援
- 身体合併症の支援
- カウンセリング

ACTが大切にしていること

- 1、病院や施設ではなく地域で生活すること
- 2、希望や夢を持ち人生を楽しむこと
- 3、本人の持っている強みを生かすこと

オープンダイアログとは？

▶ オープンダイアログ

オープンダイアログは1980年代にフィンランドの西ラップ地方にあるケロプダス病院で始まったミーティングを用いて症状緩和を目指す方法。

ミーティングは本人や家族をはじめ本人のネットワークに影響を与えている人々(同僚、地域住民など)が集まり、非指示的な対話を続けていくことでその副産物として症状の軽減などがもたらされる療法です。

ミーティングは出来るだけ全員が発言し、発言に対しては必ず応答する、治療者同士の話し合いも本人の目の前で行いながら薬物療法や入院治療の必要性などについても本人を含めたミーティングで決めるという従来の精神科治療とは違った視点からアプローチする方法で近年世界各地で注目、実践され始めています。

オープンダイアログの対象は？

対象となる方の基準は決まっていません。

- 1、幻覚妄想のある急性期の状態
- 2、ひきこもりの状態
- 3、家族関係に困難さを感じている など



ご利用方法

年齢や疾患によって医療保険と介護保険のどちらかを利用することになります。医療保険利用の場合と介護保険利用の場合ではご利用の相談先が違ってきます。

